



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 TOYO TIRE株式会社 上場取引所 東
コード番号 5105 URL <https://www.toyotires.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 隆史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 延澤 洋志 TEL 072-789-9100
コーポレート統括部門管掌
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	409,221	16.8	50,324	60.3	64,489	42.4	56,768	26.8
2022年12月期第3四半期	350,430	23.9	31,391	△20.9	45,288	8.4	44,768	55.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 71,716百万円 (7.6%) 2022年12月期第3四半期 66,644百万円 (45.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	368.71	—
2022年12月期第3四半期	290.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	652,962	381,877	58.5
2022年12月期	598,889	320,915	53.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 381,762百万円 2022年12月期 320,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2023年12月期	—	20.00	—	—	—
2023年12月期 (予想)	—	—	—	70.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	12.6	65,000	47.6	70,000	37.2	60,000	25.1	389.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 3 Q	154,111,029株	2022年12月期	154,111,029株
② 期末自己株式数	2023年12月期 3 Q	142,449株	2022年12月期	157,970株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 3 Q	153,963,558株	2022年12月期 3 Q	153,948,704株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なることがありますことをご承知おきください。業績予想の背景及び前提となる条件等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間における経済環境について、米国では、個人消費や労働市場は引き続き復調傾向が継続しているものの、2024年以降の政策金利見通しが引き上げられる等、今後の動向について注視する必要があります。欧州では、経済活動の低迷が顕在化してきており、インフレ対策として金融引き締めが継続される等、景気復調へは不透明感があります。わが国では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が引き下げられたこと、また各種政策の効果もあり景気は緩やかに回復しているものの、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等に注視する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは2021年を起点とする5ヵ年の中期計画「中計'21」を策定し、その中で掲げた各種経営指標を実現するため、これまで培ってきた得意分野や独自性、研鑽してきた機能別組織機能、変革・強化を図ってきたガバナンスやコンプライアンス体制をベースに置きながら、取り巻く変化に迅速、かつ柔軟に適応する力を当社グループ全体で強化することに取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は409,221百万円（前年同期比58,790百万円増、16.8%増）、営業利益は50,324百万円（前年同期比18,932百万円増、60.3%増）、経常利益は64,489百万円（前年同期比19,201百万円増、42.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56,768百万円（前年同期比11,999百万円増、26.8%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

② 事業別の状況

(タイヤ事業)

北米市場における市販用タイヤについては、OPEN COUNTRY A/T III（オープンカントリー・エーティースリー）、NITTO RECON GRAPPLER A/T（ニットー リコングラップラー・エーティー）、OPEN COUNTRY R/T TRAIL（オープンカントリー・アールティール・トレイル）など当社が強みとしている大口径ライトトラック用タイヤやSUV用タイヤ、更に全天候型タイヤの新商品CELSIUS II（セルシウス・ツー）などの重点商品を中心とした販売に注力したことにより、第1四半期から継続して販売量が堅調に推移し前年度を上回りました。また、売上高は値上げや重点商品の拡販による商品ミックスの改善もあり、販売量以上に前年度を大きく上回りました。

欧州市場における市販用タイヤについては、ロシア・ウクライナ情勢に伴うロシアや周辺地域への販売停止の影響を受けたことで販売量は前年度を下回りました。一方、売上高は欧州各国での値上げや商品ミックス改善により、前年度を大きく上回りました。

国内市場における市販用タイヤについては、国内需要の減少から販売量は前年度を下回りました。一方、今期2度の値上げ効果や、新商品PROXES Sport 2（プロクセス・スポーツ ツー）、PROXES Comfort II s（プロクセス・コンフォート ツーエス）や OPEN COUNTRY（オープンカントリー）シリーズなど重点商品の拡販を受けて売上高は前年度を上回りました。

新車用タイヤについては、半導体不足が緩和し自動車メーカーの生産が回復基調となり、販売量が前年度を大きく上回りました。また、売上高も原材料市況高騰の一部を価格に反映できたため、前年度を大きく上回りました。

その結果、タイヤ事業の売上高は374,163百万円（前年同期比54,049百万円増、16.9%増）、営業利益は50,278百万円（前年同期比16,539百万円増、49.0%増）となりました。

(自動車部品事業)

自動車部品事業については、半導体不足が緩和し自動車メーカーの生産が回復基調となり、また原材料市況高騰の一部を価格に反映できたため、自動車部品事業の売上高は35,045百万円（前年同期比4,795百万円増、15.9%増）と前年度を大きく上回り、営業利益は46百万円（前年同期は2,346百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は652,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ54,072百万円増加しました。これは、主として、受取手形及び売掛金や有形固定資産等が増加したことによります。

また、負債は271,084百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,889百万円減少しました。これは、主として、社債の発行により社債が増加した一方で、コマーシャル・ペーパーが減少したことによります。なお、有利子負債は120,668百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,768百万円減少しました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は381,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ60,962百万円増加しました。これは、主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金、円安の影響により為替換算調整勘定が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は58.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①業績予想の修正について

通期連結業績予想につきましては、原材料価格の高騰及び海上運賃の値上がり等が想定より下回ること、為替相場が想定より円安に推移していることを踏まえ、前回発表予想から増益で修正しております。

なお、為替レートは、1USドル=140円、1ユーロ=151円を想定しております。

②配当予想の修正について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題として捉え、每期安定した配当を実施してまいりました。今後はこの安定配当の考え方を堅持しつつ、財務健全性も維持した上で業績に連動させた形で株主の皆様のご期待へお応えしてまいります。中期経営計画「中計'21」の期間中(2021年～2025年)は年度毎の連結配当性向を30%以上の水準とすることを考えておりますが、当期純利益に含まれる非経常的かつ特殊な損益などを調整し、より当社の実力値に近い利益に連動させることで、安定的かつ業績との連動性を持った還元策を実現していきます。この基本方針のもと、本日公表しました業績予想の修正を勘案した結果、2023年8月10日に公表しました前回予想から期末配当金について1株につき12円増配し、1株当たり70円00銭とすることといたしました。なお、期末配当につきましては、2024年3月開催予定の定時株主総会において付議する予定であります。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成していますので、実際の業績や配当額は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,601	42,244
受取手形及び売掛金	109,468	128,174
商品及び製品	78,315	77,603
仕掛品	5,091	5,478
原材料及び貯蔵品	29,477	25,374
その他	25,952	29,546
貸倒引当金	△328	△293
流動資産合計	289,579	308,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81,501	89,505
機械装置及び運搬具(純額)	116,847	129,543
その他(純額)	66,702	67,629
有形固定資産合計	265,051	286,678
無形固定資産		
無形固定資産	8,529	13,969
投資その他の資産		
投資有価証券	27,204	17,782
その他	8,628	26,507
貸倒引当金	△102	△102
投資その他の資産合計	35,729	44,186
固定資産合計	309,310	344,835
資産合計	598,889	652,962

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,577	37,838
コマーシャル・ペーパー	43,000	22,000
短期借入金	24,780	15,842
未払金	31,225	25,009
未払法人税等	11,816	19,792
製品補償引当金	4,820	351
関係会社整理損失引当金	—	3,262
その他	32,827	44,568
流動負債合計	191,048	168,664
固定負債		
社債	10,000	25,000
長期借入金	51,366	46,385
退職給付に係る負債	3,523	3,494
製品補償引当金	1,380	1,150
訴訟損失引当金	1,340	1,340
その他の引当金	97	92
その他	19,218	24,957
固定負債合計	86,926	102,420
負債合計	277,974	271,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,935	55,935
資本剰余金	54,341	54,352
利益剰余金	159,837	205,827
自己株式	△132	△120
株主資本合計	269,981	315,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,743	6,848
繰延ヘッジ損益	58	△158
為替換算調整勘定	32,359	53,804
退職給付に係る調整累計額	5,541	5,273
その他の包括利益累計額合計	50,702	65,767
非支配株主持分	231	114
純資産合計	320,915	381,877
負債純資産合計	598,889	652,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	350,430	409,221
売上原価	206,783	253,387
売上総利益	143,646	155,833
販売費及び一般管理費	112,254	105,509
営業利益	31,391	50,324
営業外収益		
受取利息	299	529
受取配当金	857	789
為替差益	14,898	13,770
持分法による投資利益	116	—
その他	1,173	1,244
営業外収益合計	17,345	16,334
営業外費用		
支払利息	945	803
持分法による投資損失	—	39
その他	2,503	1,326
営業外費用合計	3,448	2,169
経常利益	45,288	64,489
特別利益		
固定資産売却益	275	—
投資有価証券売却益	18,252	15,106
関係会社株式売却益	32	—
特別利益合計	18,560	15,106
特別損失		
固定資産除却損	237	292
減損損失	369	1,421
関係会社整理損	—	3,662
製品補償対策費	352	193
訴訟損失引当金繰入額	1,294	—
新型コロナウイルス感染症による損失	29	—
特別損失合計	2,283	5,570
税金等調整前四半期純利益	61,565	74,025
法人税等	16,789	17,391
四半期純利益	44,776	56,633
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△134
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,768	56,768

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	44,776	56,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,436	△5,894
繰延ヘッジ損益	△174	△217
為替換算調整勘定	35,509	21,301
退職給付に係る調整額	△222	△267
持分法適用会社に対する持分相当額	191	160
その他の包括利益合計	21,868	15,082
四半期包括利益	66,644	71,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,584	71,833
非支配株主に係る四半期包括利益	59	△117

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	320,114	30,249	350,364	66	350,430	—	350,430
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	39	39	△39	—
計	320,114	30,249	350,364	105	350,469	△39	350,430
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	33,738	△2,346	31,391	5	31,397	△5	31,391

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	374,163	35,045	409,209	12	409,221	—	409,221
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	12	12	△12	—
計	374,163	35,045	409,209	24	409,234	△12	409,221
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	50,278	46	50,325	△0	50,324	△0	50,324

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内関係会社に対する融資及び債権の買取、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、前第3四半期連結累計期間△5百万円、当第3四半期連結累計期間△0百万円であり、セグメント間取引消去等が含まれております。